

保育園だより ⑧

社会福祉法人 あおぞら

「昭和30年9月26日六角橋公園のプールの脱衣所(昼食時だけ、雨の日は休み)を借りて、保育園をつくる運動をすすめてきたおあそらたちが地域の子供をあつめて交替で共同保育をはじめました。こどもたちはお弁当と10円玉1つ持って行けば朝から夕方まで安全に遊ばせてもらっておやつも出るのですから、聞き伝えた商店やお勤めのおかあさんのこどもたちが集まって、たちまち50人となり60人を超えてしまいました」(山崎龍能初代園長「あおぞら保育園のおいたち」より)

同園のルーツであり、「あおぞら」の名の由来もここにある。
手元に「麦わらぼうし82号」(2003年3月あおぞら発行)がある。A4版166ページの保育実践報告誌であり、1963年から出し続けているという。表紙をめくると、日本国憲法前文、そして、井崎和夫理事長のごあいさつが続く。「今あおぞらに求められているのは、単に児童の保育に止まらず、就労の支援であり、地域子育て支援です。病後児保育であり、24時間型緊急一時保育です。園を挙げて取り組んでいます」
保育目標
・ 友達の中で全身を使って思いっきり遊べる子。
・ 子育てという重大な仕事を父母・地域との連携をさらに深めながらおしすすめる。



井崎理事長

横浜市の施策

平成15年4月1日現在「24時間型緊急一時保育」は一ヶ所、「病後児保育」(乳幼児健康支援一時預かり事業)は五ヶ所(別表)あり、すべて社会福祉法人の運営となっている。また、平成18年度までに、「病後児保育」十四ヶ所「病児保育」(医療機関併設型)二ヶ所設置を計画している。

園名	運営	所在地	TEL
あおぞら第2保育園	(福) あおぞら	神奈川区六角橋	413-1114
きらら保育園	(福) みどり会	金沢区能見台	790-3440
睦町保育園	(福) 乳児保護協会	南区睦町	710-6230
都筑ひよこ保育園	(福) あおば	都筑区加賀原	942-9557
緑園なえば保育園	(福) いずみ苗場の会	泉区緑園	810-6131

専用保育室は、2階にあり、12畳ほどの和室で家庭的な雰囲気だ。台所や風呂場やテレビもある。しかし、24時間対応のため、外部からの進入を防ぐシャッターや監視カメラが備えられている。夜間は、職員2〜3人体制で、それ以外に責任者(2園の園長、副園長、主任)が1週間交代で自宅待機しているという。



佐藤園長

24時間型緊急一時保育

あおぞら保育園

「決定を知った時の職員はかなり動揺がありました。一体どういう保育になるのだろうか?」「夜勤が始まるのかな?」「働き続けられるか心配」など(略)毎日のように一時保育に問い合わせがあり(略)受けられない実態があったことなどもあげられました。(略)「本当は、現場の私たちから、こういう事業を地域が求めていると提案すべきだったのでは」と反省もしました。(略)事

保育事業をめぐる制度や考え方が大きく揺れ動いている今日、何よりも日々利用者へ接している保育現場の様子を伝えたいの思いから、社会福祉法人「あおぞら」の2園(神奈川区)を訪ねた。井崎理事長、佐藤・柴田両園長のお話を伺って、病後児保育も24時間型緊急一時保育も損得勘定や思いつきでできる事業ではないと感じた。当園が、父母・地域と連携を深めてき

「病後児保育室さくらんぼ」の出入口は、一般の園児への感染を防ぐため、別に設けられていた。職員も除菌室を通じて保育室に入る。部屋全体は「陰圧化」されていて保育室のほかに安静室が2つあり、4つのブロッコは必要に応じて隔離室になるという。ちょうど2人のお子さんが利用していて、青木看護師が優しく見守っていた。専任の看護師と保育士が配置されていて、子ども2人に職員1人の体制とのこと。柴田園長は「余裕ができて子どもをまるごと受け入れる保育が実現できる」と語る。

あおぞら病後児保育室 さくらんぼ

1967年「病児保育実現のための準備会」発足(なかもみ父母の会発行)「井崎さん(バラ組春恵ちゃんのご両親、井崎外科経営)から「自分の病院の1室をあおぞらの病児保育室として提供しても良い」との善意の提案があり、前号の湯原さんの提案から「保育病院実現」というドエライ成果が生まれそうな気がたまたまて来ました。(鈴木幸恵バラ組幸雄の母)

それから33年・井崎氏は井崎外科医院の土地建物をそっくり法人に提供した。あおぞら第2保育園が完成。かくして、永年の思いであった病後児保育



柴田園長

あおぞら第2保育園

平成14年度利用状況
利用延べ人数 406人
利用実人数 200人 キャンセル件数265件

保育園別状況 32園 1家庭福祉員一人当たりの平均利用日数 14日

疾患別利用状況 (急性上気道炎 104人 52% 気管支炎 32人 16% 喘息 15人 7.5% 他)

業の意義がみんなの中で確認されていく中で(略)「みんな、力を合わせて作り出していく保育なんだ」ということを実感しながら、地域で生まれ育った「あおぞら」の保育方針に立ち返っていきました。(略)

(麦わらぼうし82号より 職員代表 芳尾寛子 塚田弘子)

政令指定都市の認可保育所としては初めての取り組みとなった24時間型緊急一時保育。
昭和40年から職員として勤務されてきた佐藤園長は「1995年から一時保育事業を開始したが、0歳児や単発の申し込みが増えて要求にこたえきれなかった。今は(原則)6ヶ月から、時間単位で預かれる。また、存在することに安心感があるのではないかと」
小川24時間型緊急一時保育室長も「実際に始めてみて困っている人の多さに驚いた」と話す。

平成15年4月利用状況
利用人員 21人(0歳 1人 1歳 9人 2歳 7人 3歳 1人 4歳 1人 5歳 1人 7歳 1人)

利用時間 190時間(7時~19時 106時間 19時~7時 84時間)

利用事由 急な就労 7件 冠婚葬祭 2件 介護 2件 急な傷病 2件 出産 1件 その他 7件 (通院見舞、健診、日曜の就労、免許更新等)

なお、5月は、利用者が倍増している。

た歴史の重みと、それを実践してきた職員の姿勢にただ驚くばかりであった。同時に、先駆的な事業を継続し発展させていくには、行政の施設整備も含めた運営安定のための財政支援が不可欠との感を強くした。今度の土曜日には、理事長先生を先頭に総勢約60人の職員が、北海道のよさこいソーラン祭に出かけるという。

室は誕生した。理事長を引き受けた井崎先生は「病児保育に否定的な小児科の先生が多く、また病後児という言葉も分かりにくい。しかし、すべての保育園で病児・病後児を受け入れることが必要と思う。」と、医師と保育園の連携の重要性を熱く語る。



* 別途食事代1食につき300円
* きょうだい一緒の利用の場合は、下の子を3割減免
* 生活保護等の場合は、5割減免

利用対象	年齢	利用料金 (1時間あたり)
0〜1歳	7時~19時	600円
2〜3歳	19時~7時	700円
4歳以上	24時間の上限	1万円

利用期間 原則として宿泊も含め3日以内
夜間・宿泊も含め、24時間365日対応

利用方法 1 直接、保育所へ電話で申し込む。(利用の理由、期間等)
2 電話で申し込み後、直接、当該園で利用申し込みの手続きをする。(利用申込書(登録票)記入)
3 保育所の利用承認により、利用料金を支払って、子どもを預ける。

利用対象

横浜市内在住の就学前児童(児童の要件)病気の回復期にあり、医療機関による入院加療の必要はないが、安静の確保に配慮する必要があることから集団保育が困難な児童(保護者の要件)勤務の都合・傷病・事故・出産・冠婚葬祭など、やむを得ない事由により家庭で保育が困難な場合

利用期間 1回の利用期間は7日以内
開室時間 月~金 7:30~18:30 (土 7:30~15:30)

利用方法 1 事前登録する。(「児童登録票」に保護者が記入し提出、年度毎) 2 登録した施設に、利用が可能かどうか確認する。 3 かかりつけの医師の診察を受ける。(「利用連絡書」に記入してもらう) 4 登録した施設に、利用申し込みをする。

利用料金 1人1日 2000円
* 別途食事代等がかかる
* 生活保護世帯等は無料または5割減免
定員 4人(予約受付順)

